

# ルビフルボタンβ版 導入ガイド

一般財団法人ルビ財団

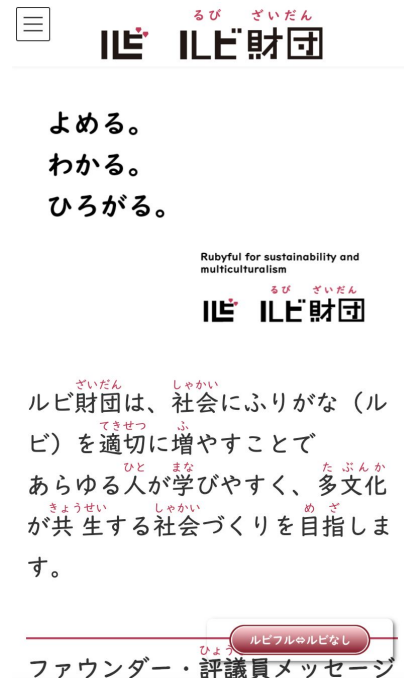
# 目次

1. ルビフルボタンについて
2. ルビフルボタンの機能
3. 注意事項
4. ルビフルボタンの追加方法
  - 4.1. ルビフルボタンの追加方法①ソースコードの追加
  - 4.2. ルビフルボタンの追加方法②ルビの調整
  - 4.3. ルビフルボタンの追加方法③対象の限定
  - 4.4. ルビフルボタンの追加方法④ボタンのスタイルを変更
  - 4.5. ルビフルボタンの追加方法⑤ルビ自体のスタイルの変更
  - 4.6. ルビフルボタンの追加方法⑥デフォルトをルビOFFに設定

# 1.ルビフルボタンについて

ルビとはふりがなのことです。誰もが漢字を読めるように今よりもルビがたくさんある(=フル)状態を目指して、ルビをふる活動をルビふる=ルビフルと名づけて、私たち一般財団法人ルビ財団は活動しています。

既存のウェブサイトのHTMLソース上にコードを一行追加するだけで、自動でふりがなが追加されて、ふりがな表示のオン/オフを切り替えることができるボタンをルビフルボタンとして開発しました。



表示例(ルビ財団HP)

## 2. ルビフルボタンの機能

- ・Webサイトに自動でルビを振ることができます
- ・ボタンで閲覧者が自由にルビのON/OFFをできます

### 3. 注意事項

- ・全て正しいルビを振ることはできません。人名・地名などの固有名詞や、読み方が複数ある漢字については、ルビのふり間違いが発生することがあります。
- ・最初に読み込みが入るため、サイトの読み込み速度に影響を与える可能性があります。
- ・意図しない部分にルビが振られて表示レイアウトが崩れる可能性があります。表示の確認と範囲を絞るといった対応をお勧めします。
- ・他のJavaScriptに影響を与える可能性があります。ルビフルボタンは、JavaScriptにて動作しています。既にサイトで設置された他のJavaScriptの動作に影響を与える可能性があります。

## 4.ルビフルボタンの追加方法概要

- ①ルビフルボタン利用申請を行う
- ①ウェブサイト上にソースを1行追加
- ②RUBYタグを使用してルビの調整
- ③ルビを振る対象の限定
- ④ルビのON/OFFボタンのスタイルを変更
- ⑤ルビ自体のスタイルの変更

## 4. ルビフルボタンの追加方法

## 4-0.ルビフルボタン利用申請

[ルビフルボタン利用申請フォーム](#)よりご利用の申請をお願いします。

その後、利用登録の申請を行います。

次ページ以降は、利用登録の審査完了後に皆様に行っていただく手続きとなります。



## 4-1.追加方法①ソースコードの追加

導入したいサイトのHTMLに、ソースコードを追加してください。

HTMLのヘッド部分に、コードの入力をお願いします。

※ソースコードは、お申込みいただき、審査完了後にお渡しいたします。

## 4-2.追加方法②ルビの調整

自動で振り仮名を振っているため、名前、地名等複数読み方がある漢字等に関して、異なったルビが振られる可能性があります。事前に修正するには、最初から<ruby>タグでルビを振るという対応になります。

その単語のHTMLソースコードで、<ruby>タグを個別で設定してください。

その際、RUBYタグを使用してルビを振った漢字はボタンのON/OFFにかかわらず常にルビが表示されますのでご注意ください。

わたしはルビがもっと振られる<sup>ふ</sup>日本<sup>にっぽん</sup>社会<sup>しゃかい</sup>の実現<sup>じつげん</sup>（再現<sup>さいげん</sup>）を夢見<sup>ゆめみ</sup>ています。

私はルビがもっと振られる<ruby>日本<rt>にほん</rt></ruby>社会…

## 4-3.追加方法③対象の限定

ルビを振る対象を限定できます。メニューなど、javascriptを利用している部分は対象から外すことをお勧めします。問い合わせフォームが動かないといったケースも発生したことがありますので、動作確認が必要となります。

RubyfulJsAppオブジェクトを定義することで、refPathsに指定したXPathの要素のみにルビを振ることができます。

refPathsは配列で複数指定することができます。

※対象範囲内の一部の文字のみにルビを振ることはできません。(範囲内全てに適用されます)

```
<script>
  window.RubyfulJsApp = {
    refPaths: [
      "//*[contains(@class, 'site-body')]",
    ]
  }; = $0
</script>
```

## 4-4.追加方法④ボタンのスタイルを変更

rubyful-jsを読み込むと、ルビのON/OFFボタンが表示されます。

このボタンに対してスタイルを変更するには、`rubyfuljs-button is-customized` クラスに対してスタイルを指定してください。

OnとOffでスタイルを変えたい場合Onの場合は is-ruby-on、Offの場合は is-ruby-offクラスを利用します。

```
button.rubyfuljs-button.is-      (index):196
customized {
  background-image: url(
    https://shinwa-ins.co.jp/wp-co... );
  width: 185px;
  height: 42px;
  background-size: cover;
  border: ▶ none;
  color: ■ transparent;
  overflow: ▶ hidden;
  background-color: ■ transparent;
}
```

## 4-5.追加方法⑤ルビ自体のスタイルの変更

自動で振られるルビについては、`<ruby>`タグ、及び`<rt>`タグには`rubyfuljs-insert`クラスが適用されていますので、このクラスを直接指定することでスタイルを変更することができます。

```
<style>
  ruby.rubyfuljs-insert {
    color: #f00;
  }

  rt.rubyfuljs-insert {
    color: #00f;
  }
</style>
```

## 4-6.追加方法⑥デフォルトをルビOFFに設定

ルビフルボタンのデフォルト設定は「ルビON」になっています。

コードを挿入する際に `defaultDisplay: false` という指定を入れることで、デフォルトでルビOFFにできます。

※詳細のコードは利用お申込み・審査完了後にお渡しいたします。

ルビフルボタンのご利用をご希望の方

ご利用をご希望の方は

[ルビフルボタン利用登録フォーム](#)

よりご登録ください。